

平成19年度 事務事業評価表						
(様式1)						
記入年月日	平成19年3月30日		記入者		連絡先	780-1416
平成18年度部名	経済部		課名	津久井経済課	課長名	佐藤
平成19年度部名	経済部		課名	津久井経済課	課長名	佐藤
事務事業名	有害鳥獣駆除等対策事業					
予算上の事務事業名	有害鳥獣駆除等対策事業					
1 総合計画における位置づけ				施策コード	31510	
基本目標	「躍動し 魅力あふれる交流拠点都市」をめざして					
政策名	第1章 立地特性を生かした産業の振興をめざします					
基本施策名	第5節 都市農業の振興					
施策名	第1施策 安定した農業経営の確立					
2 実施根拠及び関連法令・条例・規則・要綱等	神奈川県鳥獣保護管理対策事業費補助金交付要綱、相模原市農作物獣害防護対策事業補助金交付要綱、相模原市津久井町鳥獣等被害対策協議会設置要綱					
3 個別計画の概要	概要					
計画名	農業振興地域整備計画（津久井町）			農業生産環境及び基盤と緑地としての保全を行うとともに、農業の担い手の育成・確保を図り、地域特性を生かした都市近郊型農業を推進する。		
計画年次	平政17	年度～	平成22	年度		
4 事業形態の区分	対策			5 事業開始年度	平成14年度	
6 事業概要	(1) 事業の目的（何のために行うのか、またはもたらしたい成果）					
津久井町内におけるサル、シカ、イノシシなど有害鳥獣による農畜産物等の被害防止対策事業を行い、農業経営の安定を図り、地域農業を推進する。 相模原市津久井町鳥獣等被害対策協議会を設置し、効率的な事業の推進を図る。				(2) 対象（誰、何）		
				津久井町内に農地を所有するもの		
(3) 平成18年度事業の内容（活動）・・・いつ、どのような方法で実施した内容（活動）なのか。						
・防護柵設置費補助金（補助率 1/2 限度額 50千円） 補助件数 16件、補助額 389千円						
・有害鳥獣防止柵草刈業務委託 777千円（年2回分）						
・協議会への運営費補助金 8,893千円 業務内容 サルの追い払い委託、シカ、イノシシの駆除委託、捕獲ワナの購入など						
7 関連事業・類似事業又は他市の状況	県下、全市町村で実施している。 サルについては、出没する限られた市町村の区域で追い払いのみを実施している。					
8 事業費の推移	[単位：千円]					
年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	
事業費	0	0	10,216	5,372	5,372	
一般財源	0	0	5,770	3,122	3,122	
受益者負担金	0	0	0	0	0	
その他の特定財源	0	0	4,446	2,250	2,250	
人件費の合計	0	0	8,050	8,050	8,050	
事業コスト合計	0	0	18,266	13,422	13,422	
9 事業効率・・・活動単位当たりの事業効率						
事業名 （主たる事業名）	相模原市農作物獣害防護対策事業補助金の交付			対象名称 と単位	助成件数 件	
年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	
事業コスト(主たる事業)	0	0	800	1,000	1,000	
対象数	0	0	16	20	20	
単位あたり経費(円)	0	0	50,000	50,000	50,000	
前年度比			0.00	0.00	1.00	

1 0 活動指標・・・実施した内容（活動）を数値化したもの					
指標名と単位	イノシシ捕獲頭数の前年度比	指標式と指標の説明	当年度捕獲頭数 / 前年度捕獲頭数 出没状況や被害状況を見る		
	平成16年度		平成18年度	平成19年度	平成20年度
実績	0.0	0.0	121.0		
目標	0.0	0.0	100.0	100.0	100.0
目標達成度（%）	0.0	0.0	100.0		
1 1 成果指標・・・もたらしたい成果の達成度を数値化したもの					
指標名と単位	防護柵助成申請件数の前年度比	指標式と指標の説明	当年度申請件数 / 前年度申請件数 被害対策状況を見る		
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
実績	0.0	0.0	16.0		
目標	0.0	0.0	16.0	20.0	20.0
目標達成度（%）	0.0	0.0	100.0		
1 2 個別評価					
(1) 妥当性の評価 【A：妥当である・B：妥当性に課題がある・C：妥当でない】					
A	<input type="checkbox"/>	・法令、条例により実施することが義務付けられている。			
	<input type="checkbox"/>	・法令、条例に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 【A：有効である・B：有効性を高める余地がある・C：有効でない】					
B	<input checked="" type="checkbox"/>	・上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input type="checkbox"/>	・成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input type="checkbox"/>	・事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 【A：効率が良い・B：効率性を高める余地がある・C：効率が悪い】					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・単位あたりの経費は適正である。			
	<input type="checkbox"/>	・再任用や非常勤職員などを活用しても、これ以上のコスト節減の余地がない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力または市民協働の導入の可能性【有・無】					
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が適している。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、市民協働により推進する方が適している。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部に民間委託を導入しているが、さらに民間委託を導入しても効果が見込めない。			
	<input type="checkbox"/>	・市で実施する方が民間委託等をするより適している。			
1 3 総合評価（一次評価）					
(1) 自動判定結果					
	[ ]	：良好な状態を維持する事業			
	[ ]	：概ね良好な状況である事業			
	[ ]	：見直しを行う必要がある事業			
	[ ]	：抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業			
(2) 事業所管課長による評価（今後の方向性）			(3) 事業所管課長の評価に関する説明		
拡充・充実	<input checked="" type="checkbox"/>	・拡充・充実		農作物被害を防止するためには、自己防衛や適正捕獲等が必要であり、営農意欲など地域農業の振興には必要不可欠であり今後も事業の推進を図る。	
	<input type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			
1 4 成果向上及び効率性を高めるための方策			1 5 課題として認識されたこと		
防護柵助成は個人設置となるので、周辺農地との連携により広域的な設置とサル管理捕獲による群れ分裂防止を行うことにより、さらに効果的な被害防止対策ができる。			防護柵は、個別対応では限界があるので、広域的な設置など、抜本的な事業の検討が必要である。 また、サルに対する対策については、従来の追い払いと管理捕獲についての対策も考えていく必要がある。		
1 6 二次評価					
(1) 局内評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント		
拡充・充実	<input checked="" type="checkbox"/>	・拡充・充実			
	<input type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			